

平成 18 年度 事業報告

概 況

平成 18 年度の我が国経済は、GDP 実質 2.1%成長と戦後最長の「いざなぎ景気」を超え、拡大を続けている。設備投資・個人消費が景気を引き上げる形となっている。しかし日銀の利上げ、原油等の原材料値上げという厳しい状況もある。実感なき景気と評されているように、地方と中小企業は本格的な回復には至らず、まだら模様の景気回復である。雇用面では、失業率は 4.1%と改善され、15～34 歳の若年フリーター数は前年比 14 万人減の 187 万人となり、「ニート」と呼ばれる若年無業者数も前年比 2 万人減って 62 万人になった。「フリーターが基本的に正社員化、常用雇用化している」と考えられる。

自然災害も多く、能登半島地震や豪雨の被害に見舞われた 1 年でもあった。

政局は、若き安倍政権が誕生し、教育問題、憲法論議がクローズアップされた。しかし、北朝鮮の核実験により、東アジア情勢は緊迫の度を増してきた。

一方、秋篠宮殿下に男児・悠仁さまが誕生する明るいニュースもあった。

さて印刷業界では、IT 化による通信技術・携帯電話の進化、環境問題への配慮、用紙と製版材料の値上げもあり、厳しい状況が続いている。出荷額は、経済産業省の平成 17 年の速報値で 7 兆 1,200 億円と依然減少傾向が続いている。ただ、一部に回復傾向も見られはじめ、全体では縮小傾向に歯止めがかかっているとみられる。牽引役は、チラシ・フリーペーパーの拡大等で、オフ輪市場は活況を維持し、印刷物加工業は出荷額を伸ばしている。

そのような中で、8 月に東京都の入札において、発注する全ての印刷物を「物品購入」扱いから「請負契約」へ変更することとなった。東京都印刷産業政治連盟の努力もあって永年の東京の印刷業界の念願が実った。まだ最低制限価格制度の確立には至っていないが、大きな成果があがったと自負できよう。

一方、2 月から 3 月にかけて大手印刷会社による 863 万件もの大量の個人情報の漏洩事故が発覚し、社会的にも大きな衝撃を与えることとなった。印刷産業全体でコンプライアンスについて深く反省をさせられる事故であった。

ジャグラでは、5 月からインターネット放送ジャグラ BB の本格放送を開始、会員内外にリアルタイムの情報発信を行うとともに、経営・教育・技術面で多くのコンテンツを用意し、会員間放送網を構築できた。ただ、有料視聴者は少なく、資金面で自主運営に課題を残している。また「ジャグラ・ビジョン 2010」を発行、会員各社の将来展望を見据える上で、貴重な指針を与えることができた。

東京グラフィックスでは、「会員・顧客満足に徹する業界」を標榜し、業界活動の原点である会員の直接利益につながる事業を推進するために、常設 7 員会に加え、自主研究会のグループ活動が軌道に乗りつつある。さらに会員増強には、各支部との連携を密接にして拡充に臨み、新入会員 25 社を迎えることができたが、退会がそれを上回り、前期よ

り 3 社減の 470 社となった。加入促進においては、当会がプライバシーマークの付与指定機関、認定個人情報保護団体に認可されている効果も大きい。会の活性化を図り会員とのより緊密な関係を重視して地域活動の活性化を促してきた。加えて、財政面の課題も JGAS2006、プライバシーマークの付与事業により改善することができた。

東京グラフィックスの事業面では、マーケティングの強化について、各種研修会、JGAS2006 における会員参加による『ビジネス交流会』への参画、自主研究会が主催する QR コード商品や Web 関連ビジネスの紹介等で、会員企業の活性化を促した。教育委員会、総務委員会による各種研修や事業承継セミナー、IT 訓練ではジャグラ会館 1 階の DTP 教室の利用、都立飯田橋技術専門校及び日本プリンティングアカデミーとタイアップした研修を実施した。技術面では、カラー印刷技術委員会（ジャグラと合同）において、デジタルカメラによる RGB ワークフローのカラーマネジメントの研修用 DVD を制作、普及した。教育委員会もこの活動に連動して事業を進めてきた。

また、個人情報保護委員会を中心にプライバシーマークの付与認定活動を強化、1 年間で 46 社の新規及び更新申請を受け付けた。因みに 3 月までに付与認定数は延べ 38 社にのぼる。同時に、東京グラフィックスが経済産業大臣から認定個人情報保護団体に認可されたことによって、都民・一般消費者から個人情報に係る苦情・相談を公に受けることとなり一般消費者・都民の権益保護、ひいては会員企業の信用を増すこととなった。ジャグラ及び日印産連でも、プライバシーマーク付与指定機関となるべく準備を進めている。

環境問題では、国の大気汚染防止法改正に伴う VOC 対策がクローズアップし、日印産連では環境に配慮した印刷の認定制度として「グリーンプリンティング認定制度（GP マーク）」が制定された。また GCJ、ジャグラ等による環境保護印刷推進協議会が制定した「環境保護印刷マーク（クリオネマーク）」も順調に運用が進む等、環境に関する状況は大きく前進した。残念ながら東京グラフィックスとしての活動は足踏み状態だった。

また 9 月に開催した JGAS2006 では主催団体の一つとして企画部門を主に担当、各種セミナー、ビジネス交流、CG-ART 展等の運営に努めた。新春賀詞交歓会は、1 月 12 日、九段下・ホテルグランドパレスに会員 300 名が集い新年を祝った。他に、女性の会レインボウは、メーカーでの研修会（理想科学、桜井グラフィックシステムズ）や印刷博物館の見学会を精力的に開催し、会員相互の研鑽を図った。次世代の会もジャグラ BB、ジャグラ・ビジョンの研修会を実施した。

助成金事業では、東京労働局の「65 歳雇用プロジェクト事業」に取り組み、平成 18 年度から施行された改正高年齢者雇用安定法に対応するために、経営委員会の中にプロジェクトを作り、65 歳までの雇用延長の周知・啓発を行った（この事業は 19 年度も継続）。

最後に事務局体制であるが、ジャグラとの効率的な事業の融合が求められているが、プライバシーマーク付与指定機関の活動も強化され、従前の活動に加え、審査業務全般を事務局が担うことから活動スタイルに変化が現れた。個人情報保護活動が大きなウエイトを占めるようになり、財政面に寄与することになっているが通常事業との兼ね合いも考慮して事務局活動を進めてきた。会員減少に一定の歯止めはかかったが、引き続き、徹底した予算管理を行い、財政問題に注意を払いつつ、魅力ある団体運営の方策を提起している。

東京グラフィックスでは以上のような状況で推移したが、事業計画に掲げた計画は概ね遂行し、今期を終えることができた。以下、公益的事業、事業毎に報告する。

事業報告

公益的事業の推進

会員企業による印刷を通じた社会貢献をはじめ、東京グラフィックスでは、雇用促進、個人情報保護の面で公益的事業を推進した。

都民への印刷の普及では、都民への印刷技術の公開及び情報発信を東京グラフィックスホームページの逐次更新によって、一般都民へ広く公開し、印刷技術の紹介等を行った。同時に、9月のJGAS2006では業界PRを展開し、会員企業自らの情報発信を支援した。

都民からの印刷に関連する多様な相談・質問については、会員企業・事務局が対応した。

都民の雇用創出は、都立技術専門校からの求職活動である合同面接会（8月、2月）への参加、その他、東京都中小企業団体中央会の若年者雇用促進の研究会へも参画した。また、改正高年齢者雇用安定法に対応するために、「65歳雇用導入プロジェクト」を作り、65歳までの雇用延長の周知・啓発を行った。

個人情報保護については、都民・消費者のプライバシー保護に努めるために、東京グラフィックスとしてプライバシーマークの付与指定機関となり、会員企業からの申請を受け、プライバシーマークの付与審査を行うとともに、経済産業省の認可を得た、認定個人情報保護団体としての活動を行い、苦情及び相談に預かることとなった。苦情は1件もなかった。

事業報告

項目の（ ）内は所管委員会名。

1. 企業経営および技術に関する調査研究（1号事業）

「マーケティング」の研究・実践（経営委員会・総務委員会・新研究会支援委員会）

<経営委員会>

u-Japan（ユビキタスネット社会）の進展を受けて、「ユビキタスエコノミー」の切り口から「Web2.0」「ロングテール市場」といった新しい潮流や、情報通信政策の動向などについて、機関誌10月号～12月号で紹介した（2006年版情報通信白書から抜粋）。

東京グラフィックス青年部『次世代の会』のメンバーを中心に、11月27日、ニッケイビルにおいて「若手経営者座談会」を開催した。座談会出席者はコーディネーター含め5人。マーケティングの視点から、中小企業の新たな事業展開について討論された。座談会の内容を機関誌で紹介した（機関誌12月号）。

< 総務委員会 >

会員企業向けのビジネス交流名簿（東京グラフィックス会員名簿に収録）を作成し、内容の充実を図った。また、事務局による会員間のビジネス交流（作業交流）の斡旋を行った。

JGAS2006（9月14日～16日・池袋サンシャインシティコンベンションセンター）の会期中、「印刷ビジネス交流展」への会員企業の出展（東京グラフィックス本部および支部・東京グラフィックス会員・ジャグラ会員 10社が出展）を支援し、会員企業間および関連業界とのビジネス交流の実践を行った。

< 新研究支援委員会（自主研究会） >

セールスプロモーション研究会

- ・セミナー「セールスプロモーションの実際」（5月22日、6月5日、19日、7月3日 / 会場：ニッケイビル / テーマ：SP とは何か～具体的な SP の企画・展開まで / 講師：坂井田稲之氏 = (社)日本ピーオーピー広告協会専務理事 / 参加 24 人)

フロンティア研究会

- ・セミナー「それでいいのか?! あなたの営業手法（実践編）」（5月24日、6月7日、21日 / 会場：ニッケイビル / テーマ：営業力アップ・売上アップのための“意識改革”と“行動改革”についてのケーススタディ / 講師：田中信一氏 = (株)ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役 / 参加 21 人)

印刷関連技術の調査・研究（新研究会支援委員会）

< 新研究支援委員会（自主研究会） >

カラーオンデマンド研究会

- ・コニカミノルタの考えるカラーオンデマンドについて（4月5日 / 会場：ニッケイビル / 講師：コニカミノルタグラフィックイメージング(株) / 参加 10 人)
- ・富士ゼロックスの考えるカラーオンデマンドについて（5月17日 / 会場：ニッケイビル / 講師：富士ゼロックス(株) / 参加 12 人)
- ・キヤノンの考えるカラーオンデマンドについて（7月13日 / 会場：ニッケイビル / 講師：キヤノンマーケティングジャパン(株) / 参加 8 人)
- ・企業見学会（10月13日 / 会場：(株)ケーブリント本社工場 / 内容：同社の CODP ビジネス事例について / 参加 12 人)

QR コード商品研究会

モバイルムービー（QR コード 携帯向けホームページ 動画配信）と、QR コードにデザインを加えて意匠化する「ロゴ Q」を活用したビジネス展開について研究している。

Web ビジネス開発研究会

研究会のポータルサイト「グラ天」のアップを目指し、各ページの作りこみや検索エンジン対策の研究を行っている。また、同サイトを活用したビジネス展開を模索している。

- ・セミナー「Illustrator で出来る Web デザイン」（4月12日/会場：ニッケイビル / 講師：笹岡誠氏 = 同研究会代表、河辺誠氏 = 同研究会副代表 / 参加 18 人）（内容は機関誌 6 月号で紹介）
- ・セミナー「Google 検索で『絶対 Top10 に出す方法』教えます！」（4月19日 / 会場：ニッケイビル / 講師：笹岡誠氏、河辺誠氏 / 参加 10 人）

印刷経営関連問題の調査・研究（新研究会支援委員会）

< 新研究支援委員会（自主研究会） >

社長講座

- ・セミナー「銀行と上手につきあう方法」（8月1日/会場：ニッケイビル / テーマ：元・信金マンが語る『貸すに貸せない事情』と『思わず融資したくなる社長』 / 講師：谷田晴彦氏 = 岩手精工(株)執行役員 / 参加 8 人）

カラー印刷標準化、CMS 技術の研究・啓発（カラー印刷技術委員会・教育委員会）

< カラー印刷技術委員会 >

デジタルカメラ・データの入稿が一般化する現状をふまえ、RGB ワークフローのノウハウを映像化した教材「RGB データ入稿に対応したワークフローの実際」を作製し、DVD として、東京グラフィックス・ジャグラ会員をはじめ一般にも頒布した。内容は、デジタルカメラ撮影、画像処理・製版、出力・印刷、参考資料 で、カラー・40 分。

JGAS2006・印刷ビジネス交流展の東京グラフィックス・ジャグラブースに出展し、来場者に向けて、上記 DVD 教材の PR のほか、RGB ワークフローの啓蒙活動を行った。

< 教育委員会 >

コンシューマータイプ・デジタルカメラによる、データ入稿も増え、アナログ時代とは違った色に関するトラブルも発生している現状をふまえ、簡易に行える CMS の実験を行った。コンシューマータイプ・デジタルカメラ（複数機種）で撮影用カラーチャートを撮影し、カメラごとのプロファイルを作成、各カメラで撮影した画像データにプロファイルを埋め込むというもの。これだけでも、カメラごとの特性等による画像の差が、かなり縮小することが分かった。

実験結果は、機関誌 2 月号「デジカメ撮影でチャートを活用しよう！」で発表した。

原価意識高揚事業と官公需入札の改善（経営委員会）

印刷物の官公需入札制度については、東京都印刷産業政治連盟と連携して、東京都が発注する全ての印刷物に対して「物品購入」扱いから「製造請負契約」への変更を求めていたが、東京都財務局から 9 月に、都庁の全ての印刷物について「請負契約」とする旨の通達を受けた。

労務環境整備事業（経営委員会）

会員企業の労務問題について、労働安全衛生法改正など法規改正情報を機関誌、メールニュースで随時会員に伝えた。中小企業向けの就業規則モデルの例示として「就業規則のメリット」を機関誌で 2 号にわたり紹介した（機関誌 9～10 月号）。

< 65 歳雇用導入プロジェクト >

改正高年齢者雇用安定法（平成 18 年 4 月施行）により、定年の延長（62 歳まで）が義務化され、さらに平成 25 年までに 65 歳に延長されることとなったことをうけ、東京労働局から助成金を受けて「65 歳雇用導入プロジェクト」を立ち上げた。同プロジェクトでは、会員企業の実態調査（2 回）を行い、未達成企業への指導に入った。また、同法の解説パンフレット・Q&A 集リーフレット・好事例集を作成して会員企業に配布し、啓発に努めた。

また、冊子「印刷・グラフィックサービス工業 中小事業所向け 就業規則(案)」を作成し、会員企業に配布した。内容はホームページにも掲載した。

なお、「65 歳雇用導入プロジェクト」は平成 19 年度までの 2 カ年事業。

ISO の研究（経営委員会・環境委員会）

今年度は、行わなかった。

個人情報保護の研究（個人情報保護委員会・新研究支援委員会）

JIS Q 15001 が 5 月 20 日に大幅に改定されたことを受け、東京グラフィックスの個人情報保護ガイドラインも改定して「第 4 版」を定めた。機関誌 8 月号で紹介・解説した。また「印刷・グラフィックサービス工業 個人情報ガイドブック（第 2 版）」を発行し、会員や一般に頒布した。

さらに新 JIS およびガイドライン（第 4 版）の紹介・解説のため「個人情報保護セミナー」を 10 月 23 日、ニッケイビルにおいて開催した。講師は齋藤成・東京グラフィックス専務理事。参加 25 人。

また、プライバシーマーク付与指定機関として、東京グラフィックス会員企業のプライバシーマーク付与審査を行った（現地審査 42 社、付与・更新認定 33 社）。

このほか、個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体としては、都民からの個人情

報に関する苦情・問い合わせはなかった。

<新研究支援委員会（自主研究会）>

個人情報保護研究会

同自主研究会ではメンバー8社が、コンサル等の力を借りずに自力でのプライバシーマーク付与認定取得を目指して、自主的な勉強会を開催している。

東京グラフィックス次世代の会との連携（経営委員会）

事業継承、後継者育成問題の研究のため、次世代の会の支援を行った。

次世代ジャグラー・ビジョンジャグラービジョン 2010 で未来を探ろう！！」開催を支援した。同セミナーは 11 月 27 日、ニッケイビルにおいて開催。講師は吉岡新・東京グラフィックス副会長（ジャグラービジョン委員会副委員長）。参加者は 38 人。同セミナーの内容は機関誌で紹介した（機関誌 1 月号）。

中小企業の事業承継問題の検証として、『「世代交代の 2 つの波」と中小企業の事業承継・技能承継』（2006 年版中小企業白書から抜粋）を機関誌で 2 号にわたり紹介した（機関誌 8～9 月号）。

2. 人材の確保・育成事業（2 号事業）

能力開発推進事業（教育委員会）

東京都中央職業能力開発推進協議会において、都立技術専門校の人材育成と、業界内の研修について検討を行った。

東京都立技術専門校、各種学校等との協調（教育委員会・総務委員会）

<教育委員会>

印刷業界の要求に応えられる雇用の協力と、インターンシップの受け入れ、業界内における人材の再教育（向上訓練）を、都立飯田橋技術専門校等と協調して行った。

また、印刷系専門学校・日本プリンティングアカデミーの見学会を 2 月 27 日、同校において開催した。内容は、瀨照彦学校長による特別講演「JPA が提案する経営戦略・提案型営業・技術革新について」のほか、同校の施設・デモンストレーション見学。参加 17 人。

各種セミナーの実施については 4 号事業 を参照。

<総務委員会>

産学連携模索の一環として、機関誌「東京グラフィックス」の表紙に、町田・デザイン専門学校（賛助会員）ビジュアルデザイン科の学生のデザインを採用した。

若年者雇用促進対策（経営委員会）

フリーター・ニートの増加に伴い、都内の各産業で若年者の正規雇用を促進させるために、東京都中小企業団体中央会がプロジェクトを立ち上げ、当会も参画して啓発活動を行った。高卒をはじめ新卒・若年者雇用の調査、好事例集の発行に協力した。

3. 都民への印刷技術の普及・啓発事業（3号事業）

都民・エンドユーザーへの印刷技術に関する啓発事業（総務委員会・新研究支援委員会）

<総務委員会>

「JGAS2006」（9月14日～16日・池袋サンシャインシティ コンベンションセンター）に出展し、都民および関連業界向けに「グラフィックサービス工業」を紹介し、印刷・情報サービス技術に関する啓発を行った。

エンドユーザー向け「印刷なんでも相談」の支援の一環として、都民からの印刷に関する相談・問い合わせについては事務局が対応した。

また、「暑中見舞ハガキ印刷承り」「年賀状印刷承り」の店頭掲示用ポスターを、東京印刷商工団体協議会と共同で製作し、会員に配布した。

東京グラフィックスが所有する、印刷関連書籍・資料については、求めに応じて一般公開した。

このほか、都民向けに「グラフィックサービス工業」および印刷・情報サービス技術に関する情報を、ホームページに掲載して公開した。

<新研究会支援委員会（自主研究会）>

自主研究会「QRコード商品研究会」が、中央区産業文化展（へそ展・11月1～4日・晴海トリトンスクウェア）に東京グラフィックス中央支部に協力して出展し、来場者に向けて「グラフィックサービス工業」の紹介とともに、「ロゴQ」のPRを行った。

月刊「東京グラフィックス」誌の発行（総務委員会）

機関誌・月刊「東京グラフィックス」4月号から3月号まで（第45巻552号～564号）13号（臨時増刊「JGAS2006 公式カタログ」含む）を発行した。会員、非会員、関連業界、および都民に対して、業界活動や、印刷関連技術および経営等の情報を広報した。

東京グラフィックサービス工業会の宣伝広報活動（総務委員会ほか）

東京グラフィックサービス工業会および産業としてのグラフィックサービス工業について、都民および関連業界向けに広報するためのリーフレットを配布した。

「JGAS2006」に出展し、都民および関連業界向けに東京グラフィックサービス工業会

とその事業全般、産業としてのグラフィックサービス工業を広報した。

組織の拡充（総務委員会）

組織の拡充に努めたが、平成 18 年度の新規入会は 25 社、退会は 28 社、3 月 31 日現在の正会員数は 470 社となった。新入会には、プライバシーマーク付与指定機関となったことが少なからず寄与しているといえる。新規入会の促進はもちろん、退会防止については、会員相互の密な交流や明確な会員メリットの提供が重要である旨が再確認された。

総務委員会主催の賛助会員懇談会を 11 月 17 日、アルカディア市ヶ谷において開催した。賛助会員 50 人、東京グラフィックス理事・総務委員ら 20 人が参加した。賛助会員へ東京グラフィックスの取り組みや事業について報告・説明するとともに、組織拡大・事業への協力を要請した。

ホームページの更新・運用（総務委員会ほか）

東京グラフィックスのホームページについては、各種コンテンツの提供をはじめ、グラフィックニュース、セミナー・講習会案内、イベント情報等は、事務局によって日々更新されている。

また、毎週水曜日には、会員向け e-mail ニュースを事務局から発信し、タイムリーできめ細かな情報提供に努めている。

インターネット放送「ジャグラ BB」が平成 18 年 5 月から本放送を開始したことをうけ、会員への PR を行い、有料コンテンツの視聴を勧めた。また、東京グラフィックスから、個人情報保護や 65 歳雇用導入など、ニュースコンテンツの提供を行った。

4. 講習・研修会事業（4号事業）

営業マン育成事業（教育委員会）

教育委員会主催で、東京都立飯田橋技術専門校と協調して、印刷営業マン向けの研修会を開催した。

・フレッシュマンステップアップ講座（7 月 4 日～7 月 20 日・延べ 6 日間 / 会場：同校 / 講師：小早川亨氏 = 同校講師、田中信一氏 = (株)ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役、田村まみこ氏 = 同校講師、森田茂氏 = (有)ビッグコム代表取締役、河辺誠氏 = (有)Layna 代表取締役 / 受講者 27 人）

各種オペレータ育成事業 / 技術セミナーの開催（教育委員会）

教育委員会主催で、東京都立飯田橋技術専門校と協調して、会員企業および関連企業の、プリプレスおよび印刷・製本担当者の資質向上と新技術の習得を目的とした、各種セミナ

一を開催した。

- ・パソコン初級 Word&Excel 入門（5月10日～5月26日・延べ6日間/会場：同校/東京都講師/受講者8人）
- ・デジタル編集初級（7月11日～26日・延べ6日間/会場：同校/東京都講師/受講者4人）
- ・DTP・印刷基礎：デジタルデータによるカラー印刷の基礎知識（10月3日～10月19日・延べ6日間/会場：同校/講師：小早川亨氏ほか東京都講師/受講者15人）
- ・カラー印刷基礎（Windows DTP 編）：DTP からデジタル色校正・CTP 出力 ～カラー印刷まで（1月17日～2月2日・延べ6日間/会場：同校/講師：東京都講師/受講者15人）
- ・カラーDTP 知識中級（1月23日～2月8日・延べ6日間/会場：同校/東京都講師/受講者4人）

経営セミナーの開催（経営委員会・総務委員会）

<経営委員会>

中小企業経営における雇用問題に関する「労務問題トラブル事例セミナー」を12月6日、ニッケイビルにおいて開催した。講師は原貴之氏（原貴之労務事務所・千代田）。参加者は20人。

<総務委員会>

事業承継をスムーズに運ぶための準備やさらにはM&Aまでを視野に入れた「事業承継セミナー」を2月20日、ニッケイビルにおいて開催した。講師は、前沢永壽税理士と原口直道氏（オリックスM&Aソリューションズ株）。参加20人。

各地域（支部）におけるセミナー・講習会等の支援

千代田・新宿・城西・城南・城北・三多摩支部合同勉強会が2月23日、中野サンプラザにおいて開催された。支部の求めに応じて、同勉強会の開催を支援した。「改正高年齢者雇用安定法」のテーマで生駒純一氏（高年齢者雇用アドバイザー）と斎藤成・東京グラフィックス専務理事が、「会員企業が生き残るための必須条件（ジャグラー・ビジョン解説）」のテーマで吉岡新・東京グラフィックス副会長が、それぞれ講師として講演した。

5. 公害防止・リサイクル等事業（5号事業）

各種公害防止対策事業（環境委員会）

環境保全のため、印刷インキ事情について、環境対応型インキや各種環境制度を「環境

特集・地球環境にやさしい印刷インキ」として機関紙で紹介した（機関誌 3 月号）。

環境問題対応に関する印刷インキ・メーカーの取り組みやこれまでの経緯についての説明会（講師：小川肇司氏＝大日本インキ機材㈱）を 2 月 22 日、ニッケイビルにおいて開催した。参加者は 8 人。（内容は機関誌 19 年 4 月号に掲載）

印刷インキ事情について理解を深めるべく、インキ工場の見学会を 3 月 21 日、大日本インキ化学工業㈱群馬工場において開催した。参加者は 30 人。インキ生産の現状と PS 版の製造過程を見学し、環境問題への具体的な取り組みについて意見交換された。（内容は機関誌 19 年 4 月号に掲載）

ゴミ、資源リサイクル対策事業（環境委員会）

環境委員会で作成した環境問題に関する資料「めざせ！地球防衛軍」を、会員および一般向けの啓蒙資料として配布するために、内容をさらに精査・充実すべく他の環境対策関連資料を集約して再編集を行っている（未完成・平成 19 年度も継続）。

6. 関係機関との連絡・協力事業（6 号事業）

関係官庁、関係各機関との連絡・協力事業

< 東京都印刷産業団体協議会 >

個人情報保護

JIS Q 15001 が 5 月 20 日に改定（2006 年版）されたことをうけ、同説明会を 6 月 5 日、日本印刷会館で開催した。講師は経済産業省情報経済課・齋藤雄一課長補佐。参加 100 人。

環境・廃棄物対応

日本印刷産業連合会が「オフセット印刷サービス・グリーン基準」を 2006 年度版に改定したことをうけ、改正のポイントと GP 認定制度に関する講演会を 8 月 28 日、日本印刷会館で開催した。講師は日印産連専門委員・寺田勝昭氏。参加 70 人。（内容は機関誌 9 月号に掲載）

また、東京都環境局有害化学物質対策課・池田課長を招いて委員会を開催し、啓発に努めた。

< 関係官庁 >

経済産業省

認定個人情報保護団体として、一般からの苦情受付窓口の設置、認定個人情報保護団体連絡会議への参加などを通して、活動している。

東京労働局

東京労働局から「65歳雇用導入プロジェクト」の助成金を受け、調査・啓発活動を行った。また労働時間短縮についてのPRを行い、平成19年度も助成金を受け取る準備に入った。

東京都

都立飯田橋技術専門学校、障害者技術専門学校とのタイアップ事業や、東京都職業能力開発協会への参加、都立労働情報センターでの雇用に関する情報連絡会への参加などを行った。

「JGAS2006」運営への参画

「JGAS2006」は9月14～16日、池袋サンシャインシティ コンベンションセンターにて開催された。主催はJGAS協議会。東京グラフィックスは同協議会の一員として、JGAS2006の運営に参画した。

「JGAS2006」における印刷ビジネス交流展には、当会会員8社のほか、東京グラフィックス・ジャグラ、また東京グラフィックス文京支部もブースを構え、業界活動の紹介を行い、情報発信とビジネス交流に務めた。

7. その他の事業 (7号事業)

平成19年新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会は、1月12日、新宿区のホテルグランドパレスに300人の会員が集い、新春を祝った。

同時開催の新春経営者セミナーは、講師に海江田万里氏(経済評論家)を招き「2007年、今年はどうなる? 聞いて得する! 税金、金融、年金」のテーマで開催した。参加100人。内容は機関誌2月号に掲載した。

サークル活動

次世代の会

- ・全体会議セミナー「ジャグラBBについて」(6月16日/会場:ニッケイビル/講師:林田桂一氏=ジャグラ常任理事)
- ・セミナー「ジャグラ・ビジョン2010で未来を探ろう!!」(11月27日/ニッケイビル/講師:吉岡新・東京グラフィックス副会長=ジャグラ・ビジョン委員会副委員長/参加38人)
- ・「Print Next2007」参加(1月27～28日/会場:宮崎シーガイア/次世代の会からの参加8人)

女性の会レインボウ

- ・ 春季見学会（5月24日 / 場所：理想科学工業(株) / 参加10人）
- ・ 夏季見学会（7月13日 / 場所：印刷博物館、P&Pギャラリー / 参加10人）
- ・ 秋季研修会「コンテンツサービスの可能性を探る」（11月21日 / 会場：(株)プレシーズ / 参加12人）
- ・ 意見交換会「業態変革について」（2月19日 / 会場：六本木ヒルズクラブ / 参加9人）
- ・ 春季研修会「川上営業プレゼン必勝法（基礎編）」（3月23日 / 会場：(株)桜井グラフィックシステムズ / 講師：(株)プレシーズ・中村専務 / 参加8人）

シニア倶楽部

- ・ 健康セミナー「ガンで命を落とさぬためにガンを知る」（8月24日 / 場所：ニッケイビル / 講師：矢島正純氏 = 杏林大学医学部助教授 / 参加10人）

東京都印刷産業政治連盟

「1号事業」の を参照。